

2024. 7 月

女性チャレンジ応援拠点だより



コラム

「超えるコミュニケーション」(続)

梅雨本番、どうやら「ラニーニャ現象」発生の可能性は高いようで、今年も暑くて長い夏になりそうです。体調管理、なかでも睡眠は、「脳を休め、働き通しで熱くなった脳の温度を下げ、日中に学んだ事柄を脳に定着させるための重要な役割を果たす」(国立精神・神経医療研究センター) 一方で、睡眠最重視で有名な「大谷翔平選手」ほどでなくても、睡眠環境に気をくばり、質のよい睡眠をとりたいものです。『寝る子は育つ』、大人も同じですね。

さて、7月の『夢をカタチにみちびくコミュニケーション』は先月の続きとして、「超えるコミュニケーション(続)」です。今回は、わたしたちが誰かを見たとき、服装や姿勢といった実際に目にみえるものを超えて、その人の印象や雰囲気を見てとり、自分との関係性などを推し量っていることなどを書きました。今回は〈聞く〉をプラスして考えてみましょう。

先に関連知識をいくつかご紹介。人間の五感の中でも「聴覚は最後まで残る」(高島 庄太夫) といいます。「視覚よりも聴覚は警戒のために発達した」(中井久夫) といひ、微細な差異を聞き分けるそうです。「声には voice of desire(心の思いの声)と voice of training(躡けの声)がある」(サリヴァン)、これはホンネとタテマエの声を指しています。わたしたちはその違いを聞き分けますが、謝罪会見などがその典型かもしれません。「自分の感情やイメージがちゃんと表現できる声を手にいれることで社会活動の可能性が広がる」(鴻上尚史)。ただ、「言語の習得や使用、話すこと、聞くことのいずれか、またはすべてに現れるコミュニケーション症候群」(『How Psychology Works』)があることも念頭に入れておきましょう。

夢をカタチにするみなさんは、おのずと他者の理解を得るコミュニケーションの頻度・程度が高くなります。一般に言語コミュニケーションにおいて語意の貢献度3割、音調の貢献度7割といひます。

音調とは、話し言葉における音の高低や調子、アクセントやイントネーションなどのことですが、それらが相乗的に働いて、desire と training の声の違いを人は聞き分けるのでしょう。例えば、よどみなく、スラスラ、テキパキと、『立て板に水』の話し方だけど、一緒に何かをやろうという気にならないということがあります。逆に、言葉足らずの感じさえするけど、なんとなく惹かれる、何かできることがあるば…という気になる人もいます。ビジネスコンペのような場面にその差がよく表れます。実際、たくさんの支援者を前にしたあるコンペのプレゼンテーションで、支援者の手が一番あがった発表者は後者の人でした。

この差はどこにあるのか、話す側と聞く側のさまざま要素が複雑にからみあっていることですが、聞く側からすこし考えると、前者の人には、一言でいえば、「とっつきにくい」、後者の人には「芯がある」ように感じる。極端な言葉をあえて使えば、前者の人には一種の「警戒感」を聞く側に抱かせる。実際はそういう人でないのに、「自分の感情やイメージがちゃんと表現できる声を手にいれること」が十分でないのかもしれない。後者の人にはそれが相応に備わっていて、見た目には謙虚ささえ感じることも重なって、自身の想いが聞く人の心に自然に伝わるのではないのでしょうか。

さらに掘り下げると、自分の夢への信念、その夢をカタチにさせてくれるのは自分以外の人という社会観と謙虚さ、それをふまえて奮闘する努力と真摯な姿勢。そういったものが対面した相手に見え、聞きわけ、惹きつける。そんな風にも考えられますが、いかがでしょう。

では今回はここ迄です。みなさまの役に立つ範疇を探りながら、続けていきます。「女性チャレンジ応援拠点」は、開室日を含め、チャレンジをめざす、すでにチャレンジしたみなさまのさまざまな想い、相談に対応しています。スタッフ一同、ご利用をお待ちしています。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休業

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

